令和７年　　月　　日

令和７年度三重県介護現場業務改善モデル事業所応募申込書

１　事業所の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 法人名 |  |
| 法人所在地 |  |
| 事業所名 |  |
| 事業所所在地 |  |
| 事業所番号 |  |
| サービス種別 |  |
| 職員数 |  |
| 定員（利用者数） |  |
| 電話番号 |  |
| FAX番号 |  |
| メールアドレス |  |
| 担当者　職・氏名 |  |

２　生産性向上に係る取組の実施状況

|  |
| --- |
| 生産性向上に係る取組（介護ロボット・ICTの導入、業務改善の取組、生産性向上委員会の設置など）について、現在の実施状況を記載してください。 |
|  |

３　現状の課題

|  |
| --- |
| 生産性向上の観点から、現在抱えている課題、問題点等を記載してください。 |
|  |

４　課題解決

|  |
| --- |
| 今回の伴走支援により、課題をどのように改善したいか記載してください。 |
|  |

５　介護ロボット・ＩＣＴ機器導入予定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 今回の業務改善活動において介護ロボット・ＩＣＴ機器を導入する予定があるか、下記１～４のいずれかの番号を記入してください。 | | |
| № |  |  |
| 【施設の状況】  １　これから初めて介護ロボット・ＩＣＴ機器を導入したい。  ２　既に介護ロボット・ＩＣＴ機器を導入しているが、今回の取組で追加導入したい。  ３　現在導入している介護ロボット・ＩＣＴ機器をより有効的に活用したい。（今回は導入しない）  ４　介護ロボット・ＩＣＴ機器を導入する予定はない。 | | |

６　業務改善の取組項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 今回の取組が、厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」の業務改善項目のいずれに該当するか、下記１～７のいずれかの番号を記入してください。（複数選択可） | | |
| № |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| № | 取組 | 取組によって得られる効果 |
| １ | 職場環境の整備 | 5Sの視点での安全な介護環境と働きやすい職場をつくる。 |
| ２ | 業務全体の流れの再構築 | 業務の明確化と役割分担の見直しにより、ムリ・ムダ・ムラ（3M）を削減して業務全体の流れを再構築する。 |
| ３ | テクノロジーの活用 | テクノロジーなどの活用により、職員の業務を見直し、身体的・心理的負担を軽減する。 |
| ４ | 手順書の作成 | 職員の経験値、知識を可視化し、サービスレベルを底上げする。 |
| ５ | 記録・報告様式の工夫 | 項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報の読み解きを容易にする。 |
| ６ | 情報共有の工夫 | ICT機器を用いて転記作業の削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有 のタイムラグを解消する。 |
| ７ | OJTの仕組みづくり | 専門性を高め、リーダーを育成するため、教育内容の統一と教え方のトレーニングを実施する、教える仕組みをつくる。 |

７　本事業を実施していく際の管理・実施体制

|  |
| --- |
| モデル事業所の選定後、本事業の運営に当たって、どのような体制を予定しているかを記載してください。 |
|  |